

この中でもPFASと関係がある樹木は、カバノキ科、ブナ科です。
これらはいずれもブナ目に属し、植物分類上近縁です

Q：どんな大豆加工品でPFASを起こしますか？
(関連コンポーネント→Gly m 4 (大豆由来))
A：豆乳が最も多く報告されています。
そのため、大豆のPFASを「豆乳アレルギー」と呼ぶことがあります。
豆乳の他には湯葉、ざる豆腐やおぼろ豆腐などやわらかい豆腐、
枝豆、モヤシ(※)を食べた後に本症を起こした例が報告されて
います。
稀にふつうの豆腐でも起こすようですが、みそ、しょうゆ、納豆
で起こした例の報告はありません。
※大豆モヤシのみならず、緑豆モヤシでも症状が誘発されること
が報告されている。

Q：どのような例が大豆 PFAS を発症する可能性がありますか？
(関連コンポーネント→Gly m 4 (大豆由来))
A：国民消費者センターの資料では、国立相模原病院の福富先生が、
「現在豆乳アレルギーがなくても一般のPFASのヒトは豆乳アレル
ギーになる可能性が高い」と述べています。
大豆PFAS (豆乳アレルギー) は症状が重篤なため、PFAS患者さま
において Gly m 4 検査をすることで、豆乳、おぼろ豆腐、湯葉、
枝豆、もやし摂取に注意するようにとの指導に有用になると思
います。
PFASはハンノキまたはシラカンバ感作例で起こることが多いので、
ハンノキまたはシラカンバ感作例が大豆PFAS予備軍と考えられま
す。

【参考文献】

- 1) Sicherer SH. Clinical implications of cross-reactive food allergens. J Allergy Clin Immunol 2001;108:881-90
- 2) 伊藤浩明 ビーナッツアレルギーの臨床像と診断 小児科 46(6)1008-15, 2005
- 3) Moreno FJ et al. 2S Albumin Storage Proteins: What Makes them Food Allergens? The Open Biochemistry Journal, 2008, 2, 16-28

2 KMLインフォメーション 7月～9月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されま
した「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けして
おりますが、ご確認などに活用していただければ幸いです。

2021年7月28日 微生物学検査 菌名変更のお知らせ
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2021-0728.pdf>

2021年8月2日 SARS-CoV-2S 蛋白 IgG 抗体 (アボット) 新規受託のお知らせ
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2021-0802.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読みいただきまして有り難う御座いました。

編集／発行 <https://www.kml-net.co.jp/>
株式会社 京浜予防医学研究所
〒216-0042 神奈川県川崎市宮前区南野川 3-22-1

= = = = = □ ■